

2008年 4月 30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 特定非営利活動法人 多摩生活サポートセンター

1. プロジェクト名

高齢者の孤立化防止・生活応援プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

高齢者が一人暮らしや心身の不具合をもって、住みなれた地域で安心して暮らすには 行政の保健福祉サービスだけではカバーしきれない分が多くあります。このプロジェクトは地域商店街内店舗において、趣味活動・バランスの取れた食事会の提供、お茶を飲みながらの交流・各種の相談ができるスペースを運営し、また住民同士の支えあいにより、高齢者が日常暮らししていく上で一人では対応が困難なことサポートすることを目的としています。

事業を行う多摩ニュータウンは子どもが独立した後、高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯が増え、孤独死や孤立化する高齢者が懸念されています。これらの課題には近隣に住む住民の関わりが求められています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

地域の人々が気軽に集えるスペース、「たまさぼひろば いーち」を運営し、法人ボランティアが月曜から金曜の10時～17時まで、お茶や食事を提供しています。日替わりで趣味活動を行ったり、各種勉強会も行っています。19年度からは 本助成金で購入した自動車を活用した送迎を行うことで、足腰に不安のある高齢者にも利用してもらうことができるようになりました。

また、車を使って高齢世帯への自宅訪問、入院先への荷物届け、通院同行、買い物の同行、不用品処分、緊急時の食事の配達など、高齢者が在宅生活を送る上で、困ったことをお手伝いすることもできました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

スペース利用者に、当法人所有の自動車があることを積極的にお知らせし、車を使った生活上のお手伝いを行うことができることを伝えました。自動車使用の予定表を作成し車が効率的に使用できるようにしました。運転できるボランティアを確保し、スケジュール調整のためいつでも連絡できる体制を作りました。各種保険にも加入し万一の際に備えました。

非営利組織による「移送サービス」事業実施については国土交通省より通達が出ており、今回のプロジェクトでは有料の「移送サービス」として広報することはできませんでしたが、スペースの利用者からのニーズには応えることができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

実際にサポートをして、身近な家族や親族が近くに住んでいない高齢者の場合、病気、入院などはさまざまな点で困ることが多い。と実感しました。行政の福祉サービスでは対応できない内容もありますし、緊急な要請に応えることも難しいです。民間企業のサービスは利用金額が高く、年金で暮らす高齢者が気軽に利用することも難しいものがあります。

交流スペースで顔なじみとなったボランティアが、このような高齢者の生活上の困難のお手伝いをするには高齢者にとって安心に繋がりにわれわれのような地域に密着したNPOの役割だと思いました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし